

《保護者アンケート結果より》

今年度も、保護者のみなさまには、10項目についてアンケートを実施させていただきました。今年もコロナ禍で制限された中での教育活動となり、保護者の皆様には大変ご心配をおかけした1年となりました。しかしながら、皆様の励ましの声に支えられながら日々の教育活動に勤しんで参りました。今年度は、中止になった行事や参観等もあり、お子さまの学習や生活の様子がおわかりになりにくい状況にもかかわらず、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。

まず、「⑦お子さんは本に親しみ進んで読書をするようになってきた。」、「⑨運動会や音楽会で子どもたちはいきいきと取り組んでいるか。」の項目が、共に昨年度より2%程度下回る結果となりました。本年度から4年生以上でICT活用の時間を設けたことで朝読書の時間が無くなったことが一因かと考えます。来年度以降対応に努めたいと思います。また、感染症防止の観点から、予定されていた行事や、学年での取り組みが思うように実施できなかったり、参観等の機会が減ったりするという残念な状況となりました。しかしながら、日々の教育活動において子どもたちの様子を伝えていくことや、工夫ある教育活動をしていくことが大切であると考えます。保護者の皆様の安心にもつながるよう、ホームページ等を通してよりよい情報の発信や工夫ができるよう努めて参ります。

次に、「③授業がわかりやすいと話している。」については15%のご家庭が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と回答されました。この数値を真摯にとらえていきたいと思えます。ここ数年本校では、ペアやグループで話し合ったり、考えを深めたりする「学び合い」を進め、様々な場面において友だちと考えを聴き合ったり、伝えたりする習慣が少しずつ定着してきました。しかしながら、コロナ禍でペア学習やグループ学習など当たり前前にできていた頭をつきあわせて課題に取り組んだりする活動や、面と向かって意見を言い合ったりする活動が制限され一斉授業が多くなってしまったことは否めません。今後同じような状況下となっても、タブレット等のICTを活用するなどして、常に授業改善をしながら、子どもたちがわかりやすいと思える授業づくりに取り組んで参ります

「④お子さんの規範意識は、身につけている。」「⑤お子さんは、命や人権を尊重する態度が身に付いてきた。」「⑥お子さんは危険予測・会費能力が見についてきた」については、いずれもここ数年、高い傾向を維持しています。青山学区の目指す子供である「主体的に考え、判断できる青山っ子」の育成のため、家庭で、ルールを守り、命や人権、いじめなどの問題について話していただいている成果だと思えます。また、地域全体で子供の育成に力を入れてこられている成果でもあると考えます。学校でも、それぞれの場で最適な選択ができるよう日々指導しております。今後も、学校と地域・家庭で連携・協力して、引き続き様々な場面で指導し、よりよい青山っ子の育成に努めて参ります。

「⑩先生たちは気軽にお子さんたちの相談に応じてくれると思う。」は73%の方が肯定的な意見を回答されました。しかしながら、27%の方が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と思っておられることを重く受け止め、一人一人を大切に、児童とよりよい関わり合いを持てるような学校づくりを進めていく所存です。

いただきましたご意見につきましては、全教職員が受け止め、丁寧に対応していきます。